

◆楽しく学ぶ男女共同参画

「男女共同参画」は難しいというイメージを持たれがちです。より多くの人に身近な問題だと知ってもらうために、最初の入口として落語や笑いを交えて楽しく学んだ事例を紹介します。

タイトル・形式・主催者・参加人数・開催日	講師名	内容
男と女の不思議な関係 ～笑いで取り持つ関係作り～ 【講演】 笹丘（校） 51人（女40・男11） 2015年11月21日	小ノ上マン太郎 （NPO法人博多 笑い塾理事長）	「男女共同参画」を難しく考えず、お互いを尊重し、理解しあうことが大切であることを“笑い”を交えながら実施した講演。
新聞でみる男ごころ女ごころ 【ワークショップ】 加茂（校） 23人（女17・男6） 2015年10月17日	佐藤 倫子 （E d u 代表、 福岡教育大学 非常勤講師）	当日の新聞から男女共同参画の視点で気になる記事を切り取って紙に貼り、グループ毎に自分たちの新聞作りをしたワークショップを実施。
笑顔で語ろう人権問題 【講演】 名島（公） 51人 2016年10月16日	粗忽家 勘楽 （落語家）	落語の中での差別用語について、おもしろ、おかしく、わかりやすく話した。何気なく使っている言葉の中に人を傷つけてしまうことがあるということを学んだ講演。
矢野大和の笑って元気！！ ～必要とされる喜び～ 【講演】 青葉（校） 55人（女40・男15） 2016年6月4日	矢野 大和 （おおいた観光特 使）	声かけで人と人が繋がる大切さや、自分を必要とされる喜びが生きていくうえで大切だということを、笑いを交えながら実施した講演。

【 】内は形式、（校）は校区男女共同参画推進組織、（公）は公民館の略。

コラム 楽しいイベントで男女共同参画の啓発をする工夫

多くの方に地域活動に参加してもらうきっかけとして、ワインのタベやコンサートなどのイベントを開催している校区もあります。通常の講座には参加しないような方の参加が見込まれるので、「楽しい」だけで終わらないように男女共同参画について知ってもらう工夫をすると良いでしょう。

たとえば、開始前にアマカスの朗読劇を男女共同参画協議会（部会）の委員で披露したり、男女共同参画に関するクイズを行ったりしている校区があります。ただし、あまり時間をとらず、難しくない内容にするといった注意が必要です。